

葉のように見える茎の形がシャコに似ています。

< 植物名 >

シュルンベルゲラ
シャコバサボテン
ピンク

水やり

春～秋は鉢土の表面が乾いたら水やりをして、冬は乾かし気味に管理する。

置き場所

春～夏の気候の良い時は屋外に、秋～冬は室内の日当たりの良い場所へ。

用土肥料

生長期に月2回程度、薄めの液肥を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

挿し木

冬越し

冬は室内の日当たりの良い場所へ。

使い方 鉢植え

学名 Schlumbergera

英名

属名 シュルンベルゲラ

科名 サボテン

性状(分類) 多肉植物

原産地 ブラジル

花の色 ピンク

開花期 秋～冬

購入時期

草丈 20～50cm

ID 187

季節 秋、冬

JFコード 20672



冬越しと置き場所

春～夏の気候の良い時は屋外に、秋～冬は室内の日当たりの良い場所に置く。夏の強い日差しは苦手なので、夏場は直射日光を避け、半日陰に置くが良い。開花株は室内で管理し、3程度で冬越しする。夜間明るいと言花芽がつかないので注意する。

その他の解説

生長期に月2回程度、薄めの液肥を与える。株を疲れさせないように、咲き終わった花の花柄摘みを行う。

特徴1

茎節に突起があり、葉のように見える茎の形から、シャコバサボテンと呼ばれるようになった。水はけの良い用土を好む。春～秋は鉢土の表面が乾いたら水やりし、花後は徐々に水やりを控えるようにして、冬は乾かし気味に管理する。

特徴2

シュルンベルゲラは、ブラジルの山岳地帯に自生するサボテン科の多肉植物。濃淡ピンクから赤、黄、オレンジまで、色とりどりの花がクリスマスの頃開花するため、クリスマスカクタスの別名もある。シャコバの名は、茎節に突起があり、葉のように見える茎の形が、シャコに似ているためについたと言われている。